

令和6年度 第2回静岡市食育推進会議 会議録

1 日 時 令和7年1月29日(水) 午後3時30分～午後5時00分

2 場 所 静岡市役所新館 9階 特別会議室

3 出席者

(委員) しずおか市消費者協会 青木良子委員、市民委員 梅木幹子委員、
関東農政局 柏谷広樹委員、静岡市清水医師会 門田景介委員、
静岡県栄養士会 久保田美保子委員、静岡県立大学 桑野稔子委員、
市民委員 新谷琴美委員、市民委員 杉浦元昭委員、
静岡商工会議所 松浦高之委員、
静岡市公立こども園園長会 水谷智美委員、
静岡市食生活改善推進協議会 渡邊良子委員 (五十音順) 計 11名

(欠席: 静岡市校長会 小田泰子委員、静岡市静岡歯科医師会 木下博雄委員、
静岡市農業協同組合 三津山定委員、由比港漁業協同組合 宮原淳一委員)

(事務局) 保健福祉長寿局 萩原局次長
保健福祉長寿局 健康福祉部 健康づくり推進課
川口課長、大勝総務係長、望月(有)主任栄養士、橋本主事

4 傍聴者 なし

5 報 告 (1) 第4次静岡市食育推進計画における評価方法について
(2) 第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票について
(3) 静岡市の食育事業について

6 議 事 (1) 第4次静岡市食育推進計画における中間見直しについて
(2) 静岡市の食の取組について(意見交換)

7 会議内容

報告・議事(進行: 桑野議長)

報告（１）第４次静岡市食育推進計画における評価方法について

説明：事務局（望月）

（資料１）

令和６年度に開始した第４次食育推進計画から事業評価方法が変更するため、令和５年度事業評価について、第３次食育推進計画の評価方法との比較を行い、確認をした。新しい評価方法は事務局調べとした。

実施計画どおり、事業実施ができたと思われる割合として、第３次計画のＡ評価（当該年度実施計画を基準として８０％以上達成）は８５．６％であった。第４次計画の新しい評価方法の結果をまとめ、Ｓ評価（当該年度実施計画を基準として１０５％以上達成）、Ａ評価（当該年度実施計画を基準として９０％以上１０５％未満達成）を合わせると、８２．７％であった。

実施計画を立てる際、教室開催などの周知、実施後のアンケート等の分析などをもとに、次年度の事業計画をきちんと立てていくことが、食育推進計画の数値目標達成につながるため、関係課・関係団体と共有し、進めていく。

桑野議長

事務局で以前の評価方法と新しい評価方法で比べた場合の評価をまとめてくださいました。この内容につきまして、何かご意見、ご質問がありましたら、お願いいたします。

（委員からの質問・意見）

なし

桑野議長

このような結果を示してくださり、ありがとうございます。よく理解ができました。

報告（２）第４次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票について

説明：事務局（望月）

（資料２）

・重点事業について

本市の食育推進計画では、計画の目標数値を達成する上で、最も影響のある事業を第４次計画の基本方針、基本施策から１～３事業程度を選んで、その事業の課題を明確にし、達成に向けて目標を設定する「個票」を作成している。

第４次計画から新しい個票を作成したため、資料２の【記入例】に基づき、説明。

第4次計画では、18の重点事業でスタートした。

第3次計画で「重点事業」としたものを、そのまま継続したため、令和8年度の中間見直しに向けて、今後、重点事業の整理をしていく。

桑野議長

ただいまの説明について、何かご意見、ご質問がありましたら、お願いいたします。
何か不明な点など、大丈夫でしょうか。

(委員からの質問・意見)

なし

報告(3) 静岡市の食育事業について

説明：事務局(望月・橋本)

(資料3)

今年度、静岡市健康づくり推進課で新しく実施した事業、また若い世代の朝食などに関するアンケート結果について、報告。

・「健康な食事・食環境」を考え、学ぶためのランチョンセミナーについて

「スマートミール」を市民や飲食店関係者へ周知することを目的に、静岡県立大学、静岡信用金庫と連携し、9月の健康増進月間に開催した。

「スマートミール」とは、栄養バランスのとれた食事のことで、一食の中で、主食・主菜・副菜が揃い、野菜がたっぷり、減塩にも配慮した食事のことをいう。

当日は静岡県立大学の先生が、健康な食事の科学的な根拠に基づき、スマートミールの基準や高齢者の方に必要な栄養素等について分かりやすく説明。参加者はその講話を聞きながら、スマートミールとして認証されている弁当を食べることができ、健康な食事についてより理解を深めることができた。

・静岡県立大学と連携した野菜摂取量測定会について(しずおかカラダにeat75事業)

静岡県立大学、大学の食堂にご協力いただき、100名を対象にベジメータ測定と食育SATシステムの体験会を行った。食育SATシステムは、県内では静岡県立大学 食品栄養科学部だけが所有するもので、専用のフードモデルをセンサーにのせることで、栄養価計算とその食事のバランスなどがチェックできる。

当日はまず、食育SATシステムで普段食べている昼食のフードモデルをトレイに選び、センサーの上にのせる。今回は学生の皆さんが選んだ昼食一食分の「野菜の量」に注目し、カードに具体的なグラム数を書いて、渡した。その後、皮膚カロテノイド測定値 ベジメー

タで自身の野菜摂取量を確認し、野菜のおかずの引換券を配布した。

野菜のおかずは、1皿 70gの「ほうれん草のごまあえ」を大学の協力により提供することができ、大変好評であった。

・新社会人に向けた出張型食育教室について

昨年度末に実施した新社会人に向けた出張型食育教室について、今年度10月に教室受講後の様子についてのアンケート調査を行った。

本事業の目的は令和4年度に実施した「静岡市健康・食育に関する意識・生活アンケート調査」の中で、朝食を「ほぼ毎日食べる」と回答した人の割合が20歳代では12～19歳と比較して10%以上減少し、また朝食を「ほとんど食べない」と回答した青年期は30%台と高い水準である結果となった。そこで、生活スタイルと共に食生活が大きく変化する新社会人をターゲットとし、出張型食育教室を実施することで食生活改善につなげることを目的とし、昨年度からスタートした取組である。

昨年度は健康経営優良法人として登録されている企業を対象に5社で教室を開催。テーマは「朝食と栄養バランス」とし、グループワークやベジメータを使いながら、自身の食生活を見直し、受講後の参加者の反応は非常によく、意識も高まった。その意識が継続しているのか、教室開催半年後にアンケート調査をさせてもらった。

アンケートの内容は別紙3のとおり。

桑野議長

ただいまの説明について、何かご意見、ご質問がありましたら、お願いいたします。

(委員からの質問・意見)

なし

議事(1) 第4次静岡市食育推進計画における中間見直しについて

説明：事務局(望月)

(資料4)

本市の食育推進計画は、令和6年度から12年度までの計画で、前期は8年度までとなる。

よって、令和8年度に市民アンケート調査を実施したいと考えている。

令和7年度はアンケート実施に向けて、調査項目や実施方法等を検討する。

また、新しく設定した食育推進計画の数値目標の評価方法についても相談する予定。

桑野議長

ただいまの説明について、何かご意見、ご質問がありましたら、お願いいたします。

(委員からの質問・意見)

なし

議事(2) 静岡市の食の取組について(意見交換)

説明：事務局(望月)

(資料5)

令和6年4月に「第4次食育推進基本計画のフォーアアップ中間取りまとめ」として、国から報告があった。

中間取りまとめは、第4次食育推進基本計画の中間年にあたる令和5年度において、各目標の達成状況や関連する取組等を整理し、目標達成のための促進・阻害要因等を分析することで、次期計画の作成を視野にいれつつ、第4次基本計画の目標達成に向け、今後、重点的に取り組むべき事項を明らかにするものとしている。

また、令和6年12月に静岡市の関係課の職員を作業部員として構成する食育推進計画作業部会にて、今年度実施した事業として報告されたものを、国からの重点事項ごとに資料5にまとめた。

関係課、関係団体等と連携し、食育を地道に進めているところであるが、各委員の皆様の団体、または個人で行っている食育の取組みなどについて、ご紹介いただきたい。

【意見交換】

・しずおか市消費者協会 青木委員

生活安全安心課と一緒に生活展などを実施しています。

消費者協会なので「食育」ということだけには絞れないため、広い意味で「エシカル消費」の周知について活動しています。私たちは主にごみを減らしていく「食品ロス」ということとに対して取り組んでおり、「グリーンコンシューマー」という講座も一般の方に向けて、実施していくために勉強をしているところです。

“もっとお米を食べましょう！米粉を使った料理講習会”や、“省エネ、保温調理の講習会(鍋帽子を使って時短調理で食卓に)”について、今後、協会主催で行う予定です。

・市民委員 梅木委員

私は病院の管理栄養士をしていた経験がありますので、昨年、高校生を対象とした食育講座を開催させていただきました。開催させていただいた高校の場所が清水区にあるということで、台風15号で断水の被害を受けたと思われることから、水が少なくても調理ができる“ポリ袋調理”の実習を行いました。ポリ袋を加熱している間には、病院で提供していた「行事食」を例に挙げまして、世界無形文化遺産となった和食の素晴らしさについて話をしました。栄養素だけではなく、食には色々なパワーがあるということで、病院食で行事食を出し

た時の患者さんの反応などについても伝えさせていただきました。

さらに栄養素の「葉酸」にターゲットを絞りまして、これから元気な赤ちゃんを産みたいと希望される若い女性にとっても葉酸が大事であるということを科学的なデータを用いて説明しました。外国では二分脊椎症は減ってきておりますが、日本人の葉酸の血中濃度はすごく低いということで、二分脊椎症が増えているという現実があります。よって、野菜が大事だということを葉酸に絞って説明し、少し危機感をもってもらうことも必要かと思ひ、このような切り口で話をさせていただきました。

高校生はとても反応がよく、すごく真剣に話を聞いてくれました。ポリ袋調理を実施したこともあり、おいしく楽しく学んでいただけたのではないかと思います。

私自身は退職後、野菜作りに励んでいて、できるだけ地域の皆さんに安価な野菜を提供するように心掛けています。また、食品ロスということでSDGsのポスターを作り、掲示することで規格外の野菜も販売するなど楽しく食育に取り組んでおります。

・関東農政局 柏谷委員

食育への関心を高めていくために、管内のアスリートの方の食事をSNSで紹介するなどの情報発信を行っています。また農林水産省ということで、都市住民に農業を知ってもらうことが非常に大切だということで、昨年10月に関東農政局のホームページの中に「ノウトコネクト」を作成しました。農業と都がつながるということで、体験農園や棚田、直売所やマルシェなどの情報を紹介しております。また、未来の食事ということで、若手職員が農家さんのところに出向き、農作業をしたり、堆肥を自ら作ってみるなどのYouTube動画についてもSNSなどを通じて発信しています。

・静岡市清水医師会 門田委員

医師会委員として食育推進に直接関わる機会が少ないと感じていますが、健診事業や学校保健、こども園の健診などで、朝ごはんを食べていないお子さん、または食べることができないお子さんがいるという中、やはり食事は健康に直結するようなどころもあると日々感じているおります。糖質が多い食事やコレステロールが多い食事などは、健診結果で数値として表れてきます。保健事業と食育事業は、分野は似ているのですが、なかなかつながらないこともありますので、健診時などに食事の大切さなどについて両事業が重なってできるようなどころがあるといいです。

朝ごはんを食べないというのは健康に影響するということでは言われておりますが、よく噛んで食べることや、子どもの痩せ、肥満も問題となっており、健診で栄養士の食事指導を受けていただくというのはすでにやっけてはいるのですが、日々の生活に注意をしてほしいところですので、学校健診等で食育の取組みとつながっていくところがあるといいと思ひます。

・静岡県栄養士会 久保田委員

静岡県で色々な委託事業をやっております。

県栄養士会の独自の事業としては介護予防に関する教室を行っております。やはり食べてみないと分からないということもありまして、調理実習や試食があるととても人気があります。私も病院に勤務していた時、食事指導で患者さんから「減塩と分かっている」と言われたのですが、入院すると減塩食を食べることで実感するので、講義だけではなく体験教室や試食を取り入れる方が効果もあがると思います。企業の方などと連携して開催していかるとかなり進んでいくのではないかと思います。

また食育の日の普及ということで、その日をアピールする市のテーマやポスターなどがあれば、ご提供いただけたらと思います。

・市民委員 新谷委員

私は乾物屋なのですが、お店で料理教室を開催しております。

「だしを取ると減塩になる」ということを体験することで「こんなに塩が少なくても美味しいんだ」ということを知ることができます。私自身は、料理教室の中で、できるだけ肉を使わないようにしています、肉は普段の生活でとる機会が多いと考えているため、野菜や乾物、発酵食品など、素材がもっている味を体感していただいております。また、ごみを出さない料理の仕方や、野菜の皮を剥いてその皮をどう活用するのかをお伝えしております。たとえば、大根の皮を剥いたら少し塩を振ったり、ポン酢で和えることで一品になるということを体験することで、確実にごみを減らしていくことができます。

清水の子育て支援センターでは「おだしの教室」を開催し、実際に親子でだしを飲んでいただきました。子どもさんはおいしいとゴクゴクと飲んで、それを見たお母さんは美味しいものはしっかりと食べてくれるんだと実感してくれました。このような、リアルな体感が非常に大切だと思います。

・市民委員 杉浦委員

静岡市立の小学校で週2日ほど勤務していますが、この数年の間に学校給食の献立表が変わったなと感じております。今の小学校は学校給食センターからの配送となりますが、以前は「ふるさと給食」だったものが、今は「家康給食」という名前で、給食時間の放送の原稿も送付されます。黒はんぺんは焼津市のものだという印象が強いですが、家康が関係しているんだという歴史のことにも触れていて、学校の食に関する指導が変わってきていると実感しております。

個人的には大学生と関わるがありますが、朝食を食べてこない学生が多いです。夜遅く寝るため、夕食も遅い傾向があります。運動部の学生は体格はしっかりしているのですが、大学を卒業して何年後かに会うと、その食生活を続けていたことで、ふくよかになられていることが多いです。朝食を食べないという習慣が学生時代についてしまうと、そのまま習慣

化してしまう傾向にあります。先ほどお話があった県立大学での取組はとても素晴らしいと感じました。

また、関わっている学生たちに大学の食堂を利用すればいいのではないかと伝えますと、「安いけど高い」と言います。市内の大学の食堂について、もう少し何かできることはないかと感じています。大学祭などにおいても市と連携して、食育を取り入れることができたらいいのではないかと思います。

・静岡商工会議所 松浦委員

健康経営が叫ばれるようになってきているので、個々の企業は社員さんの健康に対する配慮が高まっていると感じます。その中で食育にどこまで関わっているのかは分かりません。本日、市の報告を聞いていて、新社会人に向けた出張型食育教室をやってらっしゃるということですが、参加企業はどのように選んでいますか。

事務局（橋本）

健康経営優良法人に登録されている事業所に対して、教室の開催案内通知を送付させていただき、先着という形で5社を選んでおります。

静岡商工会議所 松浦委員

やはり感度がいい企業が手を挙げているということですね。

静岡商工会議所では、会員企業が13,000社ありますが、このような教室をやると社員が朝ごはんを食べるようになるといった重要性を、広く会員企業に周知していくことは可能だと思います。とてもいい事業ですが、新入社員全員に実施することは不可能なので、健康経営優良法人に登録している企業にはヒットするかと思います。商工会議所として何かできることがあれば、意見交換ができればいいと思います。

また物価高を非常に心配しております。間違いなく食環境はプラスになることはない状況です。賃上げがきちんとなされるかが、非常に大事だという中では、少し危険な状況ではないかと感じております。

・静岡市公立こども園園長会 水谷委員

こども園では「よく噛んで食べることの大切さ」ということで、給食でかみかみメニューの提供や月に1回、食育活動を実施しています。職員が子どもたちに食育の講話を行うほか、するめを実際に噛んでみるなどの体験活動を通して、子どもたち自身が噛むことの重要性等に気づけることが大事だと感じています。また子どもたちの体験を保護者にも掲示などで伝えられるようにしています。

先ほど、学校給食で有機農産物の話がありましたが、廃業する農家さんが多い中で、園で有機農産物を使用することで、廃業する農家さんがそのまま続けていけるように、また子ど

もたちの健康を守るために、オーガニックの野菜を取り入れるなどの活動をしています。しかし、一度に全園で取り入れていくことはまだ難しいため、11月後半にさつまいもの発注から始めたと聞いております。来年度以降に、もう少し広げられるかはまだ分かりませんが、こども園でも学校給食と同じように有機野菜を取り入れていく方向で話がでている状況です。

こども園では保護者との連携も大事にしております。毎年1回嗜好調査を実施して、その結果を保護者にも伝えていきます。家庭とも連携して、保護者の方に食育に興味をもってもらうように、嗜好調査の結果の返し方や食育活動の報告をタブレットなどで配信するなど工夫しているところです。保護者との連携については引き続き課題として、色々なことに取組んでいく予定です。

・静岡市食生活改善推進協議会 渡邊委員

近年、放課後こども教室や放課後児童クラブからの依頼がとて多くなりました。子どもたちが参加をしている様子を見ますと、子どもの頃からの食育の大切さを痛感しております。就業している母親がとて多いので、一皿料理が多くなり、野菜が不足している状況だと考えられます。私たち市食推協では体験型の食育とお茶の愛飲ということで活動している中で、静岡市で予算もいただいているのですが、それだけでは足りないため、私が県食推協の会長もしていることから、県の予算をいただき、昨年も17の小学校に行きました。900人くらいの子どもたちに、お茶の効用等についての冊子や静岡市の本山茶を2,000パック配布しました。お茶は、一つは自分の水筒に入れてみて、もう一つは家族と一緒に飲んでみてと伝えました。先週も清水辻小学校の学校保健委員会で100人の子どもたちに「早寝早起朝ごはん」についての講話をしてきました。家庭では「早く寝なさい」「早く起きなさい」「朝ごはんも食べなさい」と言ってしまうがちですが、子どもは、何でそうしないといけないのか、と疑問に思うだけです。なぜ、それが必要なのかということ、子どもたちにしっかりと伝えることで実践につながると思います。私たちはパワーポイントを使ってクイズ形式で講話を行っています。本日、小学校の先生と電話でお話しましたが、朝ごはんを食べてくる小学生は多い状況ではあります。しかし、内容はゼリー飲料だけ、ジュースだけという子どももいて、そのような子どもたちも朝ごはんを食べてきたことになります。朝ごはんでは、ご飯やパンを食べないといけないよ、体の調子をよくするためにも野菜を食べないといけないよ、このようなことをしっかりと学ばせることが大切だと感じます。また、今は子どもから親に伝わっていくそうです。子どもにしっかりと教えることで親も学ぶことができるようになりますので、子どもへの食育の重要性を発信していきたいです。

静岡伊勢丹ウェルネスパークで、食育の日に野菜摂取量の測定などを行うイベントの際、市食推協も協力しておりますが、100人くらいきてくださる中で、野菜が充分足りているという結果が出た方が本当に少なかったと思います。このように自分の現状を知るためには「見える化」ということは非常に大切だと思いました。

静岡市は他市町と比べると大変、食育が遅れてまして、市はベジメータの機器も所有していません。他から借りて実施している状態で、政令指定都市でなぜ所有していないのか疑問に思っています。市食推協の活動にその機器が活かされれば、何千人の方たちに「見える化」して食育活動ができるのですが、静岡市はやはり食育に関しては遅れているなど感じました。

桑野議長

皆様方、多くのご意見ありがとうございました。私も大学に勤めておりまして、今回、静岡市健康づくり推進課よりお声をかけていただき、野菜摂取量測定会を開催させていただきました。当日は、学生たちはとても興味をもって、満員になりました。100名限定ということでしたが、これほど興味があるんだなと感じました。学生の中には「私は毎日たくさん野菜を食べているのに、結果が一番悪かった」との意見もありまして、「おそらく緑黄色野菜が足りなかったのかな」というような話をしました。先ほど、渡邊委員がおっしゃったように野菜摂取量を「見える化」することで、野菜不足を認識することができ、野菜を食べてみようという意識改善につながっていきます。ぜひこのような機会をいろいろなところで若い世代に向けて開催していただけたらと思います。私たち大学でも協力をさせていただきますので、今後ともよろしく願いいたします。

それでは、皆様方から大変貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。静岡市では今年度から第4次食育推進計画が開始しておりますので、来年度以降の中間見直し等に向けて、事務局にてよく検討していただき、今後の食の取組に活かしていただけたらと思っております。以上で本日の議事は終了いたします。

事務局からの連絡（司会）

本日の議事の内容について、ご意見等ございましたら、健康づくり推進課あて、電話、メール等でご連絡をお願いします。

では、最後に保健福祉長寿局次長兼健康福祉部長 萩原よりご挨拶申し上げます。

（萩原保健福祉長寿局次長 挨拶）

事務局（司会）

委員の皆様、任期中は何かとご指導ご助言いただきまして、ありがとうございました。

任期満了に伴う新たな委員の推薦については、各団体へ後日文書を送付させていただく予定です。今後とも静岡市の食育推進へのご協力をよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、令和6年度第2回静岡市食育推進会議を終了させていただきます。

（閉会）